

岡山市内で建築を学ぶ学生を対象に 旧岡山市民会館躯体見学会を開催します

令和6年3月末で閉館を迎えた旧岡山市民会館は、建築家・佐藤武夫氏が設計を手掛け、ホール棟は八角形のデザインを有するなど特徴的な建物です。岡山市内で建築を学ぶ学生の知見を広めていただくことを目的として、旧岡山市民会館躯体見学会を開催します。

1 日 時

令和7年5月10日(土)11時～11時30分

2 場 所

旧岡山市民会館(北区丸の内二丁目)

3 参加者

約20名 岡山市内の大学・専門学校等で建築学を学ぶ学生及び教員

4 内容

旧岡山市民会館大ホールの天井内装をはがした状態の躯体の見学を行います。

解体中の建物であるため、安全面への配慮から、入れるのは大ホール及びホワイエの一部のみです。

5 注意事項

見学会への参加申し込みはすでに終了しています。

取材を希望される場合は、当日の10時55分までに、下記を持参のうえ、石山公園(北区石関町7)のステージ前広場へお集まりください。

持参物、服装:ヘルメット、手袋、マスク(必要に応じて)、汚れてもいい服、靴。

※ヘルメットの持参が出来ない方には、貸し出しも可能です。

【問い合わせ先】

岡山市文化振興課 新居田・安田 直通086-803-1054 内線3740・3743